

講義名称	保育内容（造形表現）指導法Ⅰ
開講責任部署	大学
講義区分	演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24106261

担当教員

氏名	所属
◎ 永坂 晃子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	子どもの造形表現について発達的基础を学ぶ。また、表現行為を心理学的知見から理解し、保育・福祉の場での美術表現の意義を学んでいく。さらに保育現場における造形表現活動の具体的方法を身につける。 授業は主に自らが体験的に学ぶ演習形式である。演習から得た自分自身の感覚や感情、思考を分析することから理論の理解に繋げる。
到達目標	各演習課題の意図と内容の理解から、五領域の一つである「表現」についての理解を深める。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	領域「表現」のねらいと内容		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	「幼児と造形表現」の振り返りと十分な理解、課題レポート	20	
第2回	【授業計画】		
	子どもの「描く世界」を体験する（１）錯画期の子どもたち シミュレーションとしての演習を通して、子どもが描く状態を体的に理解する。		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	指示された物品の準備。課題レポート	30	
第3回	【授業計画】		
	子どもの「描く世界」を体験する（２）図式期の子どもたち シミュレーションとしての演習を通して、子どもが描く状態を体的に理解する。		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	指示された物品の準備。課題レポート	30	
第4回	【授業計画】		
	子どもの絵画表現の発達段階（１）心理的発達段階との呼応		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	第2回、第3回授業の課題レポートの振り返り、発達段階の復習	60	

第5回	【授業計画】	
	子どもの絵画表現の発達段階（2）描くという行為にみる内面	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	第4回授業の復習、発達段階の復習	60
第6回	【授業計画】	
	領域「表現」を理解する 人間の表現行為の理論理解から、子どもの発達・育ちにおける「表現」の意義を理解する。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	第5回授業の復習	40
第7回	【授業計画】	
	領域「表現」を理解する 創造性の心理学的理解から、子どもの発達・育ちにおける「表現」の意義を理解する。 子どもの「表現」の意義を理解し、関わる大人の援助について考える。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	課題レポート	40
第8回	【授業計画】	
	障害児・障害者の絵画・美術表現の世界（1）障害特性と表現の特徴 実際の作品と事例を通して、様々な年齢や特性を持つ人の表現について知見を広げる。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	課題レポート	60
第9回	【授業計画】	
	障害児・障害者の絵画・美術表現の世界（2）表現をどのように理解すべきか 実際の作品と事例を通して、様々な年齢や特性を持つ人の表現について知見を広げる。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	課題レポート	60
第10回	【授業計画】	
	福祉現場における、絵画・美術の応用	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	授業シートの作成	30
第11回	【授業計画】	
	生活の中に見る表現 乳児～未満児の事例から	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	課題レポート	60
第12回	【授業計画】	
	生活の中に見る表現 以上児の事例から	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	課題レポート	60
第13回	【授業計画】	
	造形活動のプランニング（1）実践演習	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	グループでの課題決定、演習に必要な材料の準備、	60
第14回	【授業計画】	
	造形活動のプランニング（2）環境構成 他領域とねらい	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	授業シートの仕上げ	60

第15回	【授業計画】	
	造形活動のプランニング（3）年齢とねらい 造形活動のプランニング	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	授業シートの作成、活動プランニング課題への取り組み	90

履修に必要な予備知識や技能	子どもの発達段階の理解、他の保育内容科目の理解、科目「幼児と造形表現」の理解
課題に対してのフィードバック	課題レポートは添削の上、課題ごとに10段階、5段階等の評価を付し、返却する。授業シートなど提出物へのコメント。
評価方法・基準	課題レポートおよび他提出物70％ 受講態度30％
教科書	教科書：「保育をひらく造形表現」榎英子（萌文書林） 参考書：「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型こども園 教育・保育要領解説」「保育所保育指針解説書」
備考	保育は、他の分野とも連動して学ぶことが理想です。本科目は大学・学科行事や他の関連科目の進行等を考慮してフレキシブルに展開します。
実務経験の内容・期間	特別支援学校教諭（2年）、保育士（2年）、中学校教諭（1年）、美術造形活動講師（12年）